親愛なる少年少女のみなさん、
私たちは何百万人もの人たちが
貧困、不当な仕打ち、そして無学
に苦しんでいることを忘れてはい
けません。何百万人もの子ども
たちが学校に通えずにいることを
忘れてはいけません。そして、
少年少女たちが、明るく平和な
未来を待ち望んでいることを忘れ
てはいけません。

無学、貧困、そしてテロリズムと
闘いましょう。本を手に取り、ペ
ンを握りましょう。それが私たち
にとって、もっとも強力な武器と
なるのです。

一人の子ども、一人の教師、一冊
の本、そして一本のペンで世界を
変えることができるのです。教育
こそがただ一つの解決の道です。
まずもって教育なのです。

One child , one teacher , one book and one pen can change the world .

Education is the only solution .

Education First .

UN Photo/Mark Garten
写真は、2014年8月18日のMDGs（ミレニアム開発目標）イベント時のもの。

これは、パキスタンの女性人権活動家マララ・ユスフザイさん（17）が、2013年7月12日にニューヨークの国際連合本部で訴えた演説の一部です。この中で彼女は、基本的人権がいまだ十分に保障されていない多くの少女の一人として、その権利を求めるとともに、平和で平等な社会の実現に向けて教育の必要性を世界に訴えかけました。

この演説の1年前に、その主張を受け入れられない武装組織に襲われ、仲間を失うだけでなく、彼女自身も瀕死の重傷を負いました。しかし、奇跡的に一命を取りとめ、威圧とテロに屈することなく再び活動の場に帰ってきたのです。

彼女は、演説の中でこうも言っています。「言葉には力がある。わたしたちの言葉で世界をかえることができる。」と。

これまでの功績を称えられ、マララさんは2014年12月10日にノーベル平和賞を受賞しましたが、これからも「すべての子どもが学校に通えるようになるまで闘い続ける。」と力強く語っています。

※基本的人権・・・すべての人間が生まれながらに持っている、人間らしく生きるための永久不可侵の権利。